



未来を見据えて

終わりました、夏休み…。教員をやっている何がイヤだといって、8月の終わりにツクツクボウシが鳴き出すことである。贅沢な悩みではあるが、夏休みが終わってしまう悲しい気分だけは、毎年味わい続けなければならないのである。トホホ…。

私は、夏休みに入ってから、上高地へ3日間のトレッキング&撮影旅行。その後、7月締め切りの原稿を仕上げ、7月の終わりから8月の第1週にかけて、教員免許更新講習にまる一週間参加。そのあと、8月の第2週と第3週は夏期講習。そして、8月最後の2週間を使って、私+主人+大学時代の友人2人の合計4人でイタリア（フィレンツェ→シエナ→ヴェネチア）に行ってきた。この「4人」というのは結構重要で、タクシーにも乗れるし、食事のメニューもバリエーション豊かに選択できるし、小回りもきくしということで、個人旅行ではベストな規模なのである。友人の一人（大学の先生）が、すでに60回以上もイタリアを訪ねているというフリークで、イタリア語もペラペラだから、こちらは観光したい場所の希望を述べて、あとは付いていくだけでよい。昔からの友人どうし、余計な気を使うこともなく、イタリアの美観と美食を心ゆくまで満喫できた。あ～、楽しかった！

*

8月31日、工事現場のようだった教室の整理整頓を大道具の諸君に頼んで帰宅したが、3日の朝、まったく片付いていないのはちょっとガッカリ。部活で早めに登校した

●●さんや、何人かの女子が掃除して教室を復活させてくれた。

で、当面は前期期末めがけて勉強である。すでに準備には取りかかっていると思うが、中間考査で思わしくなかった科目のある諸君は、ちょっとでもイイから挽回するつもりで取り組もう。夏休み前にやっていたことは、結構忘れていたりするものだから、もう一度丁寧に振り返っておくことが大切だ。

夏期講習では3年生の講座も担当したが、1年生のこの時期に勉強したことも出題されている。いつも言うように、忘れても構わないから、とりあえずしっかり覚えようという努力を重ねていくと、3年生になって本格的に受験準備を始めたときに、大きな力となってくれるものなのである。まったく覚えていないのと、一度覚えたことを忘れたのとでは、大きな違いがあることを肝に銘じてほしい。同じように部活をやっている、現役で合格できる人とそうでない人との差が出てくるのは、実はここがポイントなのである。そのことに3年生になってから気づいてももう遅い。大切なのは「今」なのである。この一週間、未来を見据えて集中して取り組もう。

*

さて、休み中の補欠募集で仲間が一人増えた。沖縄県立那覇高校からやってきた●●さん。期末前だし、星陵祭にも途中参加になるしで、なかなか大変な時期である。一日でも早く日比谷での生活に慣れられるように、サポートしてあげてほしい。